

# 東北のあす

行發日五廿日五月毎 行發日五廿日五月毎  
吉梅越堀人 町銀白北町平縣島福  
社報時工湖北東 所行發  
六 藝 川 古  
圓 金行一 料告廣  
錢十部一 錢卅金月々一

## 一言所感

古川馨六



乾坤一轉、昭和十二年を迎ひ、穆威は四海に輝き、國運は益々興隆に富嶽と共に永へに榮ふ。

旭日は昭々乎として輝き、宇宙の萬象牛氣發洩として新天地に向ふ瑞雲は靈變として冲天に漲り、昭和の御代益々耀如として無限の極致たり。

日の本に生れた幸福感何たる幸福ぞや。

吾人國民は皇室の鴻恩に酬を奉るに忠君愛國の四字を深く胸底に刻み奉るの誠念を發揮すべきなり。

願みて國家及び世界の非常時なり。スペインの革命、英國皇帝御退位、東京二二六事件のショウク、今日の文那動亂……考ればうたゝ感概無量にたいぬ。

來るべき四年後のオリンピック大東京開催、若人の胸高るオリンピック「新興日本」吾が日本帝國は世界の大黒柱として重きを置き、皇室の御繁榮彌が上に榮えまつりて國民の觀喜何物か之れに如んや。

吾等は諸賢と共に屠蘇の杯を擧げ吾が日本の千秋萬々歳を高鳴し更に杯を重ね國運の繁榮を祝福し三度杯を酌みて諸賢の幸福を祈ると共に躍進せんとする新春一九三七年の一日を卜し昭和の前途を彌上にも意義あらしむべく健實眞摯の行進曲を奏し様ではないか。

和かなる正月を迎へて過去の心勞と憂鬱とを忘れ去るべし、されど一そは來るべきより以上の苦難に耐へ得る新らしき勇氣を養はんが爲の休養であり、更生への爲の休養である事を吾々は忘れてはならぬ。昭和十二年よ幸福なれ。

苦難と忍從陰鬱と欠乏あらゆる試練に耐へ來りたる國民は希望と緊張とを以て迎へたる新しき年に對して多大の期待をつぐ共に庶生一新の第一歩を強く踏みしむるのである、而して此の意氣と緊張とが續く限り道は自から開かれ其處に光明と希望とが吾等を待つを確信するのである。

昭和維新の秋に際し官民共に協力一致熱誠を以つて國家の前途の爲に大に最善の努力と責任の重且つ大なるを思ふ、新年に際し聊か所感を述べて以て祝辭に代へんとす。

## 湯本町

由來新聞の目的は社會方面のニュースなれど各町村の風俗、人柄など紹介批評するも一興かと思ふ。その意味に於て紙面の宥さるべき範圍内に於て茲に紹介する。

昔の宿場、石城郡第二の都府元として栗原森之助氏は東白河郡本宮村の人、良い靴を安く賣る店として近郷黒ダイヤの都として全園近在より評判が高い、荒物問屋として吉田恭平商店は壽氏は前縣會議員をつとめ、買の良い店として信用亦絶正直縣議のニツクムネさい大なるのあり店主吉田恭平ある熱情の人であり情にも氏は實行力にとんだきはめろき君子人、吾等浪人に對て温厚篤實な一枚看板主義しては理解と應分の應援をせよとの由、金刀比羅神常に與へてくれる。たゞ謝社諏訪神社の社掌金土重隆あるのみ、湯本町に代議士氏は温厚を以つてその徳を一人ある預通りの代議士と慕はれ諏訪神社は靈現あらして、鈴木代議士と肩をなしたかとして近在の參詣人常らべてゐる比佐昌平氏は地に繁をなしてゐる、勝行院方の爲一段の努力を懇願す住職補正隆氏、勝行院開基賢司氏は町會議員として温頭自ら垂れるものある最厚の君として尊敬の的とな後に入山炭礦會社所長さんつてゐる、藝妓屋組合長のと庶務の比佐氏、森氏の健椅子にある鈴木金三郎氏は在を切望す。

人いたのなれにやい

と言ひぬ竹をわつた様な人湯本町の刀主界その人あるといはれた野村智運氏に敬意を表さねばならぬ、醫は仁とか氏の仁侠以つてその徳を讃へるに價する。土木建築請負の元老として濱通りの手腕家渡邊長作氏あり

氏は町會議員として石川徳銘酒——福美——磐城の銘壽氏の好き相談相手である酒として誰方も御存知の通渡邊氏に是非敬意を表し、冬は此の酒に限りませす置かねばなるまい、靴製風呂上りに一杯、愛兒を膝

に抱いての楽しい晩酌に亦正月には是非共見のがしてはならぬ、御酒です胃腸を害するやうな心配は少しもありません、その口當りの良いことは天下第一品で御家庭のお酒としてこれ以上のものはありません、冷酒でも呑んでも頭に來ないのは全く銘酒——福美——の特長であります。醸造元は石城郡内郷村御主人は四家又一氏内郷村綴郵便局長の名譽職にあり氏は圓滿な至極家庭的な人でありませす。

<p>木村 醫院 院長 木村守江</p>	<p>吉田 醫院 院長 吉田正</p>	<p>柏屋 旅館 小湊宗吉</p>	<p>五十嵐 醫院 院長 五十嵐森雄</p>	<p>福島市荒町 株式 横田商店</p>	<p>福島市本町商會 小泉商店 ヨツヤ洋品店 若野屋井桁商店 ホリエ洋品店 草野屋漆器店 高木支店菓子舗</p>
--------------------------	-------------------------	-----------------------	----------------------------	--------------------------	----------------------------------------------------------------------------------

<p>福島市陣場町 佐藤 醫院 佐藤 庸之輔</p>	<p>關内 藥局 藥劑師 關内 平町四丁目 電話四〇番</p>	<p>釜屋 商店 磐城平町五丁目 電話九・九九</p>	<p>江尻 醫院 醫學博士 江尻伊三郎 平町 電話六九番</p>	<p>磐城 共濟病院 院長 長谷部喜久 電話六四一番</p>	<p>千里村役場吏員一同 猪苗代町ニヶ組合組合役場</p>	<p>福島 金曜會 大日本電力郡山支店 磐城片倉製糸會社 高川村高玉鑛山會社 二本松町土曜會 信夫郡小學校長會 双葉郡小學校長會 平電力株式會社</p>
------------------------------------	-----------------------------------------	-------------------------------------	------------------------------------------	----------------------------------------	-----------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------

# 謹賀新年

貴族院議員 代議士 福島市長 福島縣農行 銀行頭取 公立福島病 院副管理者 縣會議員

金成通 鈴木辰三 佐藤美澤 白石禎 石部豐 鈴木周次 野崎龍藏 蓮沼六郎 小山松章 矢內清一郎 山田一太郎 佐藤正太郎 關內正太郎 松永高之助

湯本町長 石川德壽 四倉町長 新妻盛 小田炭礦萩原礦業所 萩原申八 堀江工業株式會社 鈴木木唯治 大井建築設計事務所平出張所 建築士 大井勇 赤井村 福島炭礦會社 礦主 菊地德太郎

平町四丁目 マルト七柴田書店 電話二三四番  
マルト七運動具店 電話一三四番  
マルト七食堂 電話一三三番

平南町 エーバラダイス 電話三八三番

平町 久保田パン店 電話三八三番

平郵便局長 佐藤守節

平大工町 電五九二番 多田井商店

平三丁目 なかや洋服店 電話二〇三番

平三丁目 株式丸ほん漆器店 電話二五九番

平四丁目 小野屋藥局 電話一四四番

平二丁目 坂本紙店 電話一八番

平四丁目 鶴屋商店 電話一四〇番

平新川町 木村電氣商會 電話一七九番

平七橋 渡邊吳服店

土木建築請負業 強口唯七郎 平町

平鎌田町 金成國雅

九品寺住職 遠藤心光

平町會議員 鈴木光吉

平田町 產科婦人科 井坂醫院 院長 井坂久吉

石城產婆科看護婦學校長 鷹崎千代

平研町 電二五七番 吉村製綿店 吉村安次郎

平町四丁目 和泉屋旅館 片濱自動車部 電話二一七番

平研町 高岡屋商店 電話〇六番

賀正 料亭 末廣 平田町 電話四二二番

平新川町 谷屋吳服店 電話四三七番

平才樋小路 織田材木店 電話三三五番

材木商 佐藤福太郎 平才樋小路電三三五番

志賀材木店 電話五九三番

福島縣勿來町 田子洋行 電話四十三番

平驛前 高柳醫院 電話三三六番

內外科一般 金成醫院 平鎌田町

平町六丁目 武子屋商店

內科小兒科其他一般 高久病院 院長 高久忠 藥劑師 佐竹菊雄 平田町 電話五一三番

平町南町 增田耳鼻喉科醫院 電話四八二番

川前村 永山德一

川前村木炭問屋 安藤和太郎

川前村 菊地木炭問屋

油井村廣告組合 安達部油井村役場 油井小學 油井郵便局 消防組頭 柳沼克三 石井醫院 佐藤醫院

勝次商店 本店 平町三丁目 支店 平町三丁目角 (常磐銀行前) 電話一六六番

山崎合名會社 電話營業部一〇番 本店二七番

木村病院 入院隨意病室完備 平町新川町 電話一六四番

平町公園下 內外建築材、建具材 阿部材木店 電話四九四番

石城郡町村長會  
石城郡內各學校長會  
石城郡銀行組合  
信用組合平庶民金庫  
郡山無盡株式會社  
湯本無盡株式會社  
磐城炭礦株式會社  
入山採炭株式會社  
古河炭礦好間礦業所  
小田炭礦萩原礦業部  
小田隅田川炭礦業所  
大日本電氣株式會社  
平三業保健組合  
平町料理屋組合  
湯本藝妓屋組合  
湯本溫泉旅館組合  
磐城建物株式會社  
平運輸株式會社  
小名濱信用購買利用組合  
江名信用購買利用組合  
平西洋料理業組合  
白水炭礦會

神奈川炭礦株式會社  
壽炭礦株式會社  
浪花炭礦株式會社  
高杉炭礦株式會社  
五十嵐炭礦株式會社

謹賀新年

小名濱町 町長小野晋平 助役高木保 收入役樋口速雄	飯塚榮一郎	小名濱町會議員(順不同) 立花重雄 西松丸兵衛 福尾甚太郎 江尻伊太夫 村上淨之助 野崎重太郎 藤崎右衛門 飯塚右衛門 吉田龜之助 堀越安次郎 近藤木之助 佐藤重次郎 岡川重次郎	小名濱消防組頭 松本徳次郎	軌道會社社長 草野長太郎	小名濱築港所長 福來總十郎	小名水産試驗場長 五十嵐昭	平製氷小名濱工場長 馬目安一	小名濱町學務委員(順不同) 小島源七 小島吉七 小島正吉 松原義之助 後田美之助														
西山直三郎 小名濱小學校長 諏訪神社々司 小名川糸雄	小名濱町營業案内	小磯商店 小磯元藏	志賀要平	金成犀	鈴木寫眞館	内山材木店 店主内山治七	明治屋商店	大平材木店 店主大平勳 電話一〇八番	御料理カフエ 喜樂 田中福松 電話四七番	資生堂藥舖 電話一四七番	西野屋自轉車店	久保田醫院 電話二二番	内科小兒科花柳病科 會田醫院 電話一四八番	木田齒科醫院 電話一〇五番								
門馬齒科醫院	齒科醫院主 中野政治	皆様の店 大一屋商店	茶砂糖荒物 文助丸一屋商店	郡山無盡會社 小名濱會場	磐城水産工業會社 電話一四四番	御料理 幸樂	新味 はまや 電話二一〇番	比佐屋商店 電話一七一	鹽屋商店 番電三十九番	鹽屋商店出張所 電話一六六番	長瀬芳郎	さかんや	清水屋本店									
二本松電氣會社 小名濱支店	江名町長々長 河野嘉藏	江名町 太清左工門	漁業 吉田喜十 江名町中之作	漁業 坂部萬藏 江名町中之作	小野新町郵便局長 宗像清	全 小學校長 岩崎周之助	全 消防組頭 大和田留之助	同 裁縫女學校 橫山巳之七	小野新町 田村實業銀行	同材木商 高橋龜太郎	三春町助役 千葉正己	全小學校長 郡司輸市郎	三春日町 遠藤醫院									
草野村長 芳賀辨之助	同助役 渡邊重彌	全消防組頭 吉田多喜男	神谷村長 佐藤庄太郎	全助役 鈴木爲次郎	川前村長 永山忠二	全郵便局長 矢内安藏	上遠野村長 榎田末次郎	全郵便局長 松本幸太郎	全小學校長 高木憲平	入遠野村 鈴木爲吉	村長 鈴木高國	助役 江坂高忠	收入役 藤忠太	夏井村會議員 酒井衆吉	夏井小學校長 小野三徳	内郷村第二小學校長 堀一	大浦村會議員 愛川軍治	大浦村 高崎兼次郎				
内郷村長 沼田濱之助	好間村 金澤爲喜	村長 伊藤成淺治	助役 伊藤庄助	收入役 村益平	磐崎村長 大和田隆介	同小學校長 安藤力	渡邊村長 永山定秀	飯野村長 鈴木永名次	同小學校長 鈴木永名次	豐間村 鈴木藤次郎	村長 鈴木邊茂五郎	助役 山野邊茂五郎	收入役 菊地春雄	豐間小學校長 大塚吉造	鹿島村 志賀直哉	村長 志賀善太	助役 佐蔭善太	同消防組頭 鈴木一男	鹿島村 鈴木大藏	鹿島小學校長 鈴木大藏	小泉義治	勿來町郵便局長 根本泰三
植田町 町長古川傳一	町役 坂邊國之助	助役 馬本龜太郎	消防組頭 鈴木上守忠	郵便局長 鈴木佐一	小學校長 鈴木佐一	勿來尋常高等小學校 職員俱樂部一同	石城郡上遠野村 小澤吳服店 電話三番	常磐線植田町 中央火災傷害保險株式會社 木材製材 建築請負 秋山市造商店 電話六十二番	石城郡大野村 荒木川村 正幸夫	石城郡大野村小港郵便局 局長 大谷辰三郎	沼の内漁業組合長 山野邊末五郎	豐間漁業組合長 山野邊末五郎	福島縣石城郡豐間村 縣立回春園長 安田善一	石城郡豐間村 大敷事務所	薄磯漁業組合長 政井伊勢吉	勿來町 山添炭礦合資會社 電話一二番	勿來町 金山炭礦株式會社					

